

みやぎのだより

No. 130

みやぎの酪農農業協同組合広報誌

令和4年9月15日



「第12回酪農いきいきフォトコンテスト」特選作品

CONTENTS

飼料情勢	1	Dairy Farmer	
ホームページのリニューアルについて	4	～ハートフルランド・ジャージー牧場～	9
酪農動向調査について	5	令和4年度 生乳生産実績	10
「第12回酪農いきいきフォトコンテスト」		理事会通信	10
“特選”受賞!	5	売りたいし、買いたし	11
マメ科牧草を積極的に利用しましょう!(前編)	6	編集後記	11
生乳生産管理チェックシートの記帳・記録	7		

飼料情勢

北米コンテナ船情勢

西海岸港湾の労使交渉は、現在も続いています。数年前から続く海運の混乱が米国内のインフレの一因と言われていることから、政権も介入し交渉が進められています。今後米国での年末商戦に向けた、輸入のピークシーズンが始まるため、交渉の経過には注視が必要です。

西海岸全域ではコンテナターミナルから鉄道貨物の搬出が滞りはじめ、ピークシーズンを前に港湾ターミナルの混雑が懸念され始めています。物価上昇に伴い販売が鈍化し、各小売業者の内陸倉庫の在庫が過剰になっているという報道もあり、港湾内鉄道ターミナルでも内陸向け鉄道貨物が通常の3倍以上滞留し、鉄道への積替に時間を要しています。コンテナ本船の荷役作業効率低下にもつながるため、早期の解消が望まれています。

輸入粗飼料

米国产粗飼料は今年分の生産が後半に入り、クレイグラスを筆頭に2022年産の新穀に切替が始まっています。

今回は、乾草の新穀への切替時期、及び現在判明している米国内の産地情勢・相場情報についてもご案内いたします。

※入船遅延により新穀は例年より若干遅めの入船状況です。

①ビートパルプ(US産)

新穀切替時期: 2～3月頃

ミシガン州では、順調に生育が進んでおり例年並みの収量が見込まれています。一方でその他の産地では、春先の冷涼な気候と断続的な降雨の影響で播種作業が遅れ、前年比5%程度、生産量が減少する見込みとなっています。22年産の収穫作業はスケジュールの早い地域で8月中下旬頃から開始される予定です。

天然ガスの価格が上昇していることから、22年産は乾燥させずに出荷が可能な内需向けのウェットパルプでの出荷割合が増加し、乾燥作業が必要なビートパルプペレットの生産量は工場によって減少する見込みです。

②アルファルファ

新穀切替時期: 9月後半頃

(ワシントン産)

コロンビアベースンでは現在2番刈の収穫作業が行われています。天候にも恵まれ順調に収穫作業は進んでおり、8月中旬に全域で2番刈の収穫を終える見込みです。

例年は4番刈まで収穫されますが、22年産は1番刈の収穫作業が大幅に遅れたことで、3番刈で収穫を終える圃場が多く発生する可能性があります。このため輸出業者及び内需において必要数量を確保するため、上級品を中心に積極的な買付が行われており、産地相場は1番刈以上に値上がりしています。

(オレゴン産)

南部クラマスフォールズでは7月下旬から2番刈の収穫作業が開始されています。

22年産の1番刈は例年よりもおよそ2週間遅い6月下旬から開始されました。一部の地域で突発的な降雨により、雨当たり品も発生しましたが、安定した天候が続いたため、高品質な上級品が生産されています。

中部クリスマスバレーにおいても多くの圃場で降雨を避け収穫できたため、産地では上級品を中心に生産されています。2番刈の収穫は8月上旬から開始されています。

好調な米国乳価により米国の酪農家や肥育農家の購買力は高まっており、内需からの旺盛な引き合いに下支えされ、産地相場は前年同期比で大幅に上昇しています。オレゴン産もワシントン産の1番刈の作況が芳しくなかったことから、上級品を求める内需の引き合いが強く、前年に比べ大きく上昇しています。

③チモシー (US産)

新穀切替時期: 9月頃

主産地であるコロンビアベースン及び、エレンズバーグでは1番刈の収穫作業が終了しています。22年産は冷涼な気候による生育の遅れと6月に入り降雨が続いたため、両産地ともに例年よりも収穫開始が遅れましたが、その後は安定した天候が続いたため、上級品中心の発生となり、中・低級品の発生は限定的となっています。

産地では馬糧向けを主とする上級品が相場を牽引し、他の地域に比べ早魃状況は改善したものの中・低級品は粗飼料在庫が不足する内需向けで積極的に買付が行われています。他のイネ科牧草高騰の影響を受けており、元来高いものが更に高騰している状況です。

前年同様、換金性の優れる穀物及び豆類に転作した圃場が多く見られ、1番刈収穫後に30%以上の圃場がチモシーから転作されている模様です。なお2番刈の収穫は8月上旬から開始されています。

(カナダ産)

新穀切替時期: 11月頃

アルバータ州中部クレモナ地区では、7月下旬から収穫が開始されました。7月に雹を含む雷雨が発生し、強風や雨により圃場での倒伏が散見されたものの、概ね問題ない品質となっています。22年産の収穫量は、生育期にあった適度な降雨の影響で例年と同程度か若干増加することが予想されています。

同州南部レスブリッジ地区では6月に雨天が続き、1番刈の収穫は例年より1週間から10日程度遅い、7月中旬から収穫が開始されました。収穫期は天候に恵まれ、順調に収穫できたことから中級品から上級品が中心になると予想されています。

④クレイングラス

新穀切替時期: 8月頃

主産地であるカリフォルニア州南部インペリアルバレーでは、3番刈の収穫が終盤を迎えており、圃場によっては4番刈の収穫が開始されています。

産地では連日40℃と高温が続く中、生育は加速し、茎質も硬くなりやすくなっています。また、多少草質の硬さがあっても安価なタンパク源の繊維という位置づけで、上級品と変わらない価格帯で近隣酪農家向けに取引されていることから、生産者は例年よりも単収増加を意識して収穫しており、22年産は21年産に比べ全般的に硬さが見られる印象です。

肥料・燃料代等の生産コストの上昇に加え、アルファルファ相場が高騰していることから、タンパク源の代替としてカリフォルニア州を中心とする米国の酪農家からの引き合いが増えており、産地相場は上昇しております。

また、例年クレイングラスは5～6番刈まで収穫されますが、冬野菜の栽培に備え節水が必要となっているため、22年産は圃場によっては4番刈で生産を終える見込みとなっており、生産量不足が懸念されています。

⑤豪州産オーツヘイ

新穀切替時期: 1月頃

7月は全豪的にまとまった降雨があり、22年産は順調に生育しています。7月上旬には東豪州ニューサウスウェールズ州で、およそ50万人に避難勧告が出されるほどの大規模な洪水が発生しました。また同時期に西豪州でも大雨と洪水が発生しましたが、この大雨による22年産の作況への影響はない見込みです。

今後の豪州の天候は、収穫期に向け全豪的に降雨量の増加が予測されています。豪州の気象庁による8月から10月の降水量予測では、西豪州の一部の地域を除き生産地域全体で平年以上の降水量になることが予想されています。

上記のとおり、現時点で確認できている米国産牧草の産地価格は大幅に値上がりしており、既に切替わっているクレイングラスも含め、円安の影響もあって2022年産の新穀価格は約15～20%の大幅な値上がりとなる見込みです。

また、カナダ産チモシーや豪州産オーツヘイ等、収穫期の異なる草種も同様の影響を受けるものと考えられます。

豪州コンテナ船情勢

7月上旬に東豪州と西豪州の各地であった大雨により、コンテナ本船の寄港が遅れ、スケジュールに遅延が発生しています。加えて豪州航路の船腹は満船が続いており、徐々に船腹の確保が難しい状況になっています。このため多くの船社で海上運賃の大幅な値上げを行っており、一部の輸出業者は今後、上昇した運賃の品代への転嫁を示唆しています。

当組合のホームページを大幅にリニューアルいたしました。

今回のリニューアルでは、デザインやページ構成を見直し、新コンテンツの追加も実施いたしました。

また、スマートフォンやタブレットでの表示にも対応し、各デバイスからスムーズに閲覧できるように改善しております。

一部ではございますが、本誌でご紹介いたします。



Point

「お知らせ」のコンテンツを追加して、組合に関する情報、配付文書等の様々な最新情報を随時更新しています。

トップページ下部には「組合員向け申請様式等」を設けて、今後、補助事業等の様式をダウンロードできるようにしました。

Point



Point

本誌もWEB上で閲覧可能です。バックナンバーは69号から掲載しております。懐かしい記事が沢山あるので是非ご覧ください。

今後も多くの皆様にご利用いただけるよう更なる改善を図り、有益な情報提供も行って参りますので、よろしくお願いたします。

下記のURL又は右記のバーコードを読み取ってチェックしてみてください!!

CHECK <http://www.miyagino-rakunou.or.jp/>



酪農動向調査について

指導課

令和4年8月1日現在の宮城県酪農動向調査結果をご報告します。

当組合においては生乳出荷戸数 221 戸、乳牛飼養頭数は 10,446 頭、1 戸当たりの平均飼養頭数は 47.2 頭となっております。

1 年前と比較すると、生乳出荷戸数で 19 戸が減少しておりますが、1 戸当たりの平均飼養頭数は約 3 頭増（令和3年8月1日 44.4 頭）となっております。

宮城県酪農動向一覧

(単位:戸・頭)

組合員名	令和4年8月1日						令和3年8月1日						比較増減					
	出荷戸数	飼養頭数	経産牛		未經産牛 18ヶ月 以上	18ヶ月 未満 育成牛	出荷戸数	飼養頭数	経産牛		未經産牛 18ヶ月 以上	18ヶ月 未満 育成牛	出荷戸数	飼養頭数	経産牛		未經産牛 18ヶ月 以上	18ヶ月 未満 育成牛
			搾乳	乾乳					搾乳	乾乳					搾乳	乾乳		
みやぎの酪農	221	10,446	6,428	896	1,031	2,091	240	10,677	6,386	1,006	1,160	2,125	-19	-231	42	-110	-129	-34
本所	99	4,170	2,769	381	337	683	108	4,085	2,630	410	414	631	-9	85	139	-29	-77	52
仙南支所	89	4,968	2,783	393	596	1,196	94	5,204	2,841	440	645	1,278	-5	-236	-58	-47	-49	-82
登米事業所	33	1,308	876	122	98	212	38	1,388	915	156	101	216	-5	-80	-39	-34	-3	-4
全農宮城県本部	59	2,757	1,644	264	384	465	65	2,667	1,724	244	317	382	-6	90	-80	20	67	83
宮城酪農	100	4,359	2,685	427	388	859	110	4,456	2,832	416	412	796	-10	-97	-147	11	-24	63
宮城県	380	17,562	10,757	1,587	1,803	3,415	415	17,800	10,942	1,666	1,889	3,303	-35	-238	-185	-79	-86	112

「第12回酪農いきいきフォトコンテスト」“特選”受賞!

指導課

表紙を飾る写真は、全国酪農青年女性会議主催の酪農家の生活や牛乳の生産現場をより鮮明に消費者に伝えていくことを目的に実施されたフォトコンテストで「特選」に選ばれた作品です。

撮影者は白石・七ヶ宿支部 佐久間幸枝さんです。

テーマは「お引越し」。組合員の英明さんが哺育舎から育成舎に乳牛を移動させている後ろ姿が桜とマッチしていて、とても綺麗だったので撮影した1枚ということです。

佐久間さん受賞おめでとうございます。





マメ科牧草を利用することで、**窒素施肥量の節減**（マメ科牧草と共生する根粒菌の窒素固定の働きによるイネ科牧草への窒素の供給）、**高栄養自給飼料の確保**（TDNが高く、タンパク質やミネラルの供給源となる）や**乳量の増加**が期待できます。

そんなマメ科牧草について今号と次号の2回に分けてご説明させていただきます。

草種ごとの特徴

アルファルファ

クローバ類に比べて、土壌条件を選びます。家畜の嗜好性は優れます。

アカクローバ

定着は容易ですが、短年性で利用年限は4年前後です。

シロクローバ

匍匐茎で広がり、裸地防止効果があります。



●ギシギシ防除後の裸地をシロクローバで埋めた草地

●環境適応性に関するマメ科牧草の相対評価

	アルファルファ	アカクローバ	シロクローバ
利用	採草	採草	採草、放牧
多回利用性	○	△	◎
競合力 ¹⁾	○	○	◎
耐踏性 ²⁾	△	△	◎
耐旱性 ³⁾	◎	○	△～○
耐寒性	◎	◎	○
耐酸性	△	○	○
耐湿性	△	○	○～◎

◎：優れている ○：普通 △：劣る

1)侵入してくる草種との競争力

2)家畜の踏みつけ(踏圧)に対する耐性

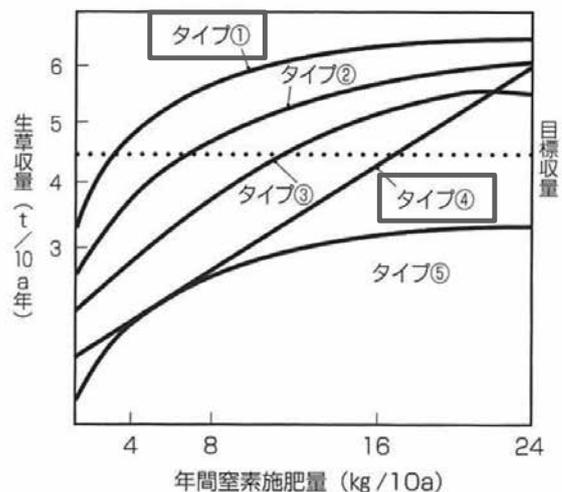
3)土壌の水分不足に対する耐性

「草地学の基礎 維持管理の理論と実践」松中照夫・三枝俊哉著より

窒素施肥量の節減

同じ収量目標でも、草地のマメ科率によって必要とされる窒素施肥量は差が生じます。マメ科牧草を活用し、肥料代を節約しましょう。

区分	草地の特徴	マメ科率	窒素施肥量 (kg/10a) ※
タイプ①	TY50%以上。RCが十分に存在。	30%以上	4
タイプ②	TY50%以上、経年化によりRCが消失。	15~30% (WC主体)	6
タイプ③	マメ科率がやや低下し、TYが50%以上。	5~15%	10
タイプ④	マメ科率が5%未満で、TYが70%以上。	5%未満	16
タイプ⑤	地下茎型イネ科草優占草地。		更新対象



TY：チモシー、RC：アカクローバ、WC：シロクローバ

※北海道東部で年間生草収量4.5t/10aを目標としたときの施肥適量

「草地学の基礎 維持管理の理論と実践」松中照夫・三枝俊哉著より

タイプ①とタイプ④では窒素施肥量が4倍も差があります。

生乳生産管理チェックシートの記帳・記録

習慣化しよう!

生乳生産管理 チェックシートの記帳・記録

～良質乳を生産して安全・安心を確保するために～

「生乳生産管理チェックシート」の記帳・記録の保管を通して、衛生的な生乳生産の実施と、農薬等の適正管理と適正使用に努めましょう。

また、「衛生管理チェックシート」の箇所は、衛生面で安全な生乳を供給するために必要不可欠な管理項目を記録するものです。



■衛生管理チェックシート

令和4年10月

	ミルカー・バルク内排水確認	バルク乳温		異常乳の混入がないことの確認	ミルカー洗浄		バルク洗浄		ミルカー・バルクが正常に作動した	動物用医薬品等の投与の有無 (乾乳軟膏の使用含む)	備考 (出荷頭数・乳量等を任意に記入)
		搾乳前 ℃	搾乳後(分後) ℃		アルカリ・殺菌剤	酸性	アルカリ・殺菌剤	酸性			
1日(土)	1回目		4.0	5.0	○	○			○	有	出荷頭数 48頭 出荷乳量 1,250kg 052(耳標:1234567890) 乳房炎
	2回目	○		4.2	○	○		○	○	無	
	3回目										

重要!!

乳質事故を未然に防げます!!

血乳・凍結乳・異物混入等の確認はしましたか?

バルク内に、洗浄水は残っていませんか?

乳温を確認することで、バルクが正常に作動しているか確認ができます。

【初期投入の場合】
搾乳後1時間以内⇒10℃以下
搾乳後2時間以内⇒4.4℃以下
【追加投入の場合】
10℃以下

《生乳生産管理チェックシートの全記帳項目》

～記入内容を確認しましょう～

チェック	ページ	記帳項目		記入頻度
✓	P3～	資材交換・牛舎消毒の記録	ミルカー用洗剤	交換時
✓			バルククーラー用洗剤	
✓			ディッピング剤	
✓			ミルカー、バルククーラーの定期点検	点検時
✓			牛舎の消毒	実施時
✓			その他・鳥害防止の忌避剤・ハエ・ネズミの駆除剤	実施時
✓	P7～	飼料給与記録表		変更時
✓	P12～	農薬・肥料使用記録		使用時
✓	P16～	衛生管理チェックシート		毎日
✓	P77～	動物用医薬品等の投与記録		投与時
✓	P110～	乾乳軟膏の使用記録		使用時
✓	P133～	家畜排せつ物の発生量等に関する記録		年1回

**衛生的で安全な生乳の供給ができます!!
自らの責任において安全性を確保できます!!**

ハートフルランド・ジャージー牧場

2回目の掲載となる「Dairy Farmer」。組合員の皆様を多岐にわたる内容で紹介させていただきます。

今回は、ジャージー牛を生かし、六次産業化にと、積極的に取り組む「遠田支部・ハートフルランド・ジャージー牧場株式会社」です。

●「お子さんに牛乳を飲ませたい」からスタート

会長の佐藤さんが「お子さんに牛乳を飲ませたい」という思いから昭和62年に経営が始まり、当時は、供給が需要を遥かに上回る状況で「ジャージー乳なら買う」と乳業メーカーからの一言がきっかけで、近隣の酪農家とジャージー種を飼い始めました。

しかし、ジャージー牛乳は値段が高いこともあり、なかなか売れない状況の中、ジャージーという付加価値で加工したら売れるだろうと、平成6年に田尻北小松にアイス販売するお店をオープンし、製造・販売も行う六次産業化をスタートしました。その後、平成11年12月に現在の場所に移店し、ヨーグルト製造も始め、新たにスタートしました。



【左：代表取締役 酒井さん 右：代表取締役会長 佐藤さん】

●7名での作業

ジャージー牧場では、搾乳牛20頭、育成牛7頭を飼育されており、佐藤さん、酒井さんの2名で搾乳等の牛舎作業を行い、5名の従業員で販売・加工を行っています。

また、飼料の高騰により今年からデントコーンの栽培も始め、稲わらの収穫にも力を入れています。

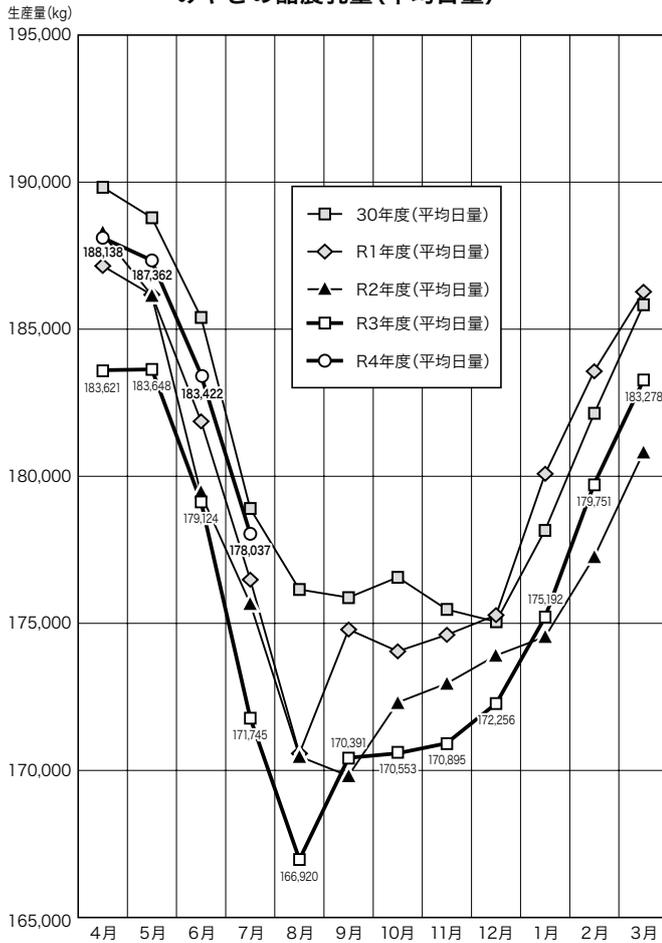


●ジャージー乳を原料とした製品

生乳を65℃で30分間加熱殺菌した牛乳や、その乳牛を原料としたヨーグルト・アイスクリームを自店や商業施設、さらにインターネット販売で全国の消費者へ届けています。



みやぎの酪農乳量(平均日量)



令和4年度生乳生産実績(4月～7月 標準進捗率33.42%)

(単位: kg、%)

支 部 名	戸数	バルク乳量	前年同期乳量	前年同期比	生乳出荷目標数量	進捗率
白石・七ヶ宿支部	22	2,944,572.1	2,973,061.7	99.04	8,699,073.1	33.85
蔵王支部	23	2,922,682.0	3,004,065.0	97.29	8,870,732.9	32.95
柴田支部	13	1,278,478.0	1,341,199.0	95.32	3,892,201.2	32.85
伊具支部	16	1,589,204.0	1,587,898.0	100.08	4,578,103.5	34.71
仙台支部	11	1,280,944.0	1,249,454.2	102.52	3,840,487.9	33.35
名取支部	4	239,653.0	264,527.0	90.60	758,385.6	31.60
黒川支部	6	320,008.0	339,860.0	94.16	982,163.0	32.58
大崎支部	17	1,137,227.0	1,185,671.0	95.91	3,440,314.6	33.06
遠田支部	14	3,340,022.0	2,263,797.0	147.54	7,520,531.4	44.41
加美支部	9	581,483.0	684,264.0	84.98	1,908,879.0	30.46
鳴子支部	8	612,402.0	644,349.0	95.04	1,885,079.0	32.49
栗原支部	29	2,089,269.0	2,232,926.0	93.57	6,499,222.3	32.15
登米支部	23	2,562,805.0	2,523,865.0	101.54	7,446,371.1	34.42
本吉支部	11	469,513.0	548,799.0	85.55	1,542,954.2	30.43
石巻支部	5	244,210.0	248,188.0	98.40	738,565.5	33.07
豊里支部	10	861,722.0	807,622.0	106.70	2,410,904.8	35.74
みやぎの酪農	221	22,474,194.1	21,899,545.9	102.62	65,013,969.0	34.57

※出荷戸数については、直近の数字です。

理事会通信

【第5回理事会】

開催日 令和4年7月27日

付議事項 第1号議案 固定資産取得について

【第6回理事会】

開催日 令和4年8月30日

付議事項 第1号議案 固定資産取得について

第2号議案 令和4年7月豪雨災害支援について

【繫養牛】

No.	支 部	販 売 者	出生年月日	種 名	分娩予定日
1	加 美 支 部	正永昭太郎	R2.11.19	皐月彰(F1)	R4.10.12
2			R2. 8. 25	P黒730 ミツエリ(F1)	R4.12.11
3			R2.11.14	ユツカースーパーサイアージョスーパーET	R4.12. 8
4			R2.12.21	ホル性別629H18787スカーレット	R4.12.10
5			R2.12.20	29H18225パインツリーバーリー ET	R4.12.17
6			R2.12.26	ABS黒 久雄(F1)	R4.12.29
7			R3. 2. 12	29H18787N-スプリングホープ コスカレートET	R5. 2. 2
8			R2.11. 1	ABS黒 百合白和(F1)	R5. 2. 8
9			R2.11.12	29H18225パインツリーバーリー ET	R5. 2. 1

[編 集 後 記]

興味深い記事を見つけたのでご紹介いたします。
 米メディアが「トルコ共和国で牛にVRヘッドセットをつける実験が行われた」と報じた。ヘッドセットには、日当たりがよく、緑の生い茂った牧草地の風景が映し出されているという。実験の結果、ストレスの減少が確認され、1日の生乳生産量が22ℓから27ℓに増加したようだ。しかし米メディアは、「実験ではポジティブな結果が得られたものの、ミルクのためにメタバース(バーチャル空間)に住む牛を見なければならぬのは悲しい」とコメントしている。この取り組みには賛否の声が上がりそうだ。

発行

遠田郡美里町北浦字道祖神前16

みやぎの酪農農業協同組合

TEL. (0229) 34-2311(代表)